

## 平成27年 海岸功労者一覧

功労区分		功 勞 者			推薦者
		個人/団体	所在地(住所)	氏名/団体名	
1	海岸事業推進	個人	上越市柿崎区直海浜	コケキ クニヒデ 小関 邦秀	新潟県
2		団体	富山市浜黒崎	ハマクロサキカイガンホゼン ソクシンキセイドウメイカイ 浜黒崎海岸保全促進期成同盟会	富山県
3	海岸愛護	個人	赤穂市坂越	アミ 任 シロウ 網家 義郎	兵庫県
4		団体	北九州市門司区東馬寄	キタキウシウウツク ウミ マモ カイ 北九州美しい海を守る会	福岡県
5		団体	北九州市若松区用勺町	われらカイガンタンテイダン われら海岸探偵団	
6		団体	宇佐市上田	ナガス 長洲アーバンデザインカイギ 長洲アーバンデザイン会議	大分県
7	海岸利用	団体	東茨城郡大洗町大貫町	オオアライ 大洗サーフ・ライフセービング・クラブ	茨城県
合 計 (2個人 5団体) 7件					

# 海岸功労者功績調書

(敬称略)

## 1. 海岸事業の推進（1個人、1団体）

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
1	新潟県	個人	小関 邦秀

(功績概要)

氏が顧問を務める「柿崎・大潟海岸をよみがえらせる会」は、日本海特有の強い冬季風浪による被害が繰り返されている当地域の海岸の汀線後退や侵食問題の根本的解決を図るため、平成17年12月に発足した。

氏は同会設立当初から平成25年まで会長を務め、当地域の日々変わる海岸浸食状況の監視・写真記録を継続的に行い、具体的侵食対策の要望をまとめ、地域住民の願いを実現する会として、住民の先頭に立って地域と行政との調整を円滑に進めるなど、柿崎・大潟海岸の着実な整備推進に貢献している。

また、行政に説得ある要望を行うため、海岸侵食規模が分かるように、かつて当地域の海岸で塩作りを行っていた塩田規模の調査をするとともに、その過程で江戸時代の塩の流通路（塩の道）も判明したことから、塩の道を紹介するパンフレットの作成や講演会の開催など、地域住民の海岸環境保全意識の向上にも貢献している。

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
2	富山県	団体	浜黒崎海岸保全促進期成同盟会 (代表 長崎 義憲)

(功績概要)

浜黒崎海岸は県都富山市の北東に位置し、一級河川の神通川と常願寺川に挟まれた海岸である。背後には「古志の松原」の松林が広がり、サイクリングロード、キャンプ場、海水浴場等の施設が一体的に利用される風光明媚な海岸であるが、富山湾特有の「寄り回り波」と冬期季節風による高波等により大きな被害がもたらされ、昭和41年から県を事業主体とする海岸侵食対策事業が実施されてきた。

同団体は、浜黒崎海岸の侵食防止対策を強力に推進し、由緒ある浜黒崎海岸の復元と保全を図ることを目的に昭和58年11月に設立され、これまで、事業の早期完成に向け、国土交通省、県、市に対する要望活動や、行政との調整を円滑に進めてきた。現在は、離岸堤と緩傾斜護岸の整備が完了し、人工リーフの築造工事が進められているところであり、当該団体の活動は、浜黒崎海岸の侵食対策事業の推進に大いに貢献している。

## 2. 海岸愛護（1個人、3団体）

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
3	兵庫県	個人	網家 義郎

（功績概要）

坂越港坂越ふるさと海岸は、全長約890mあり、前面水域に天然記念物の生島、背後に赤穂市景観条例で「市街地景観形成地区」に指定された古くからのまちなみが並ぶ風光明媚な海岸である。網家義郎氏は平成14年度からほとんど毎日砂浜（なぎさ）に漂着する空き缶やナイロン等のゴミ類を拾い集めるという清掃活動を実施している。

特に、坂越小学校の海洋訓練が行われる前には、毎年児童が気持ちよく泳げるよう、念入りにゴミや海藻等を拾い集めている。この活動は海岸環境の美化・保全に大いに貢献しており、地域住民からも評価を得ている。

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
4	福岡県	団体	北九州美しい海を守る会 (会長 大迫 秀八郎)

（功績概要）

北九州美しい海を守る会は、平成5年6月、海浜の清掃活動などを目的として設立。以降、21年に亘って新門司地区（和布刈海岸から浦中海岸にかけてのおよそ3kmの自然海岸）において海浜清掃活動を行っている。活動の頻度としては月に1回、年12回の清掃活動を行っており、平成25年の参加人数は440名である。

当該団体は、海岸周辺の住民にも参加を呼びかけ、海岸周辺住民参加型の定期清掃活動を目指して、啓蒙活動にも力を入れている。

番号	都道府県名	個人又は団体別	氏名又は団体名
5	福岡県	団体	われら海岸探偵団 (団長 竹内 裕二)

（功績概要）

われら海岸探偵団は、平成13年5月、海浜の清掃活動などを目的として設立。以降、13年に亘って若松北海岸（脇田海岸から柏原海岸にかけてのおよそ3.5kmの自然海岸）において海浜清掃活動を行っており、これまで100トンを超える漂着ゴミを回収した。活動の頻度としては月に1回、年12回の清掃活動を行っており、平成25年の参加人数は452名である。

当該団体は地元漁協協同組合や自治会、子ども会にも参加を呼びかけ、地域に根付いた活動を行うとともに、年1回若松海上保安部と協力して漂着したゴミを分析し、海岸漂着ゴミマップを作成している。

番号	都道府県名	個人又は団体別	氏名又は団体名
6	大分県	団体	長洲アーバンデザイン会議 (議長 長浦 善徳)

(功績概要)

当団体は住民と行政が一体となって地区の個性や特性を生かしたまちづくりを目指して平成2年6月4日に設立された。

様々なまちづくり活動に取り組む中、長洲の伝統漁法である石干見の保存・復元活動に務め、平成20年3月には日本初となる「石干見サミット」を長洲で開催したほか、平成10年からは「長洲海岸を裸足で遊べる砂浜へ」を目指し、春と秋の年2回、清掃ボランティア「ビーチクリーンアップ in 長洲」を開催するなど宇佐海岸（「L=約2km」）の環境美化に努めてきた。

平成26年10月には33回目となる海岸清掃を実施し、これまでの参加人員は延べ9,000人に上るなど海岸環境の美化保全に積極的に取り組む団体であり、その功績は多大であり他の模範となる団体である。

### 3. 海岸利用（1団体）

番号	都道府県名	個人又は団体別	氏名又は団体名
7	茨城県	団体	大洗サーフ・ライフセービング・クラブ (代表 ZICO 足立)

(功績概要)

当会は、平成4年に設立され平成5年以降、主に海水浴期間（7月中旬～8月下旬）の大洗サンビーチにおいて、「誰もが安全に水辺を楽しむ」ビーチとするために現在100名の会員が事故防止パトロール、レスキューなどの活動をしている。

また、延長約1,300m、幅500mと広大なうえに、海水浴客は県下一を誇り、震災前の平成22年においては56万人以上もの入込客で賑う大洗サンビーチにおいて、安全に楽しめる環境を20年以上の間提供している。

さらに、ビーチクリーン活動、海辺で安全に活動する知識を身につけてもらうための啓蒙活動（セーフティーキャンペーン）などを実施している。

なお、平成9年の全国初の車椅子でも利用できるバリアフリービーチ（現在はユニバーサルビーチ）導入にあたっては、発案、企画及び資金の一部を工面するなど、魅力あふれる海岸づくりに努めている。